



参加無料

財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
2010 年度ストレス科学シンポジウム

要申込・先着450名

第2弾

うつにならない

毎日を元気に過ごすための工夫

2011年

3/12

(土)

日時：2011年3月12日(土) 13時～17時

会場：早稲田大学 国際会議場 井深大記念ホール

13:10～14:00

パーソナリティ論からみたうつ病の予防

防衛医科大学教授 野村総一郎先生

14:00～14:50

気付いて下さい、こころのサインに～ストレスケア外来の最前線から～

東京女子医科大学教授 坂元薫先生

15:10～16:00

“うつ”と上手につきあう“考え方”

東京大学教授 下山晴彦先生

16:00～17:00

パネルディスカッション

司会 村上正人 財団法人パブリックヘルスリサーチセンターストレス科学研究所副所長

日本大学板橋病院心療内科科長・日本大学医学部准教授

募集人数： 450名（お申し込みが必要です。先着順）

募集締切： 募集人数に達し次第終了

主催： 財団法人パブリックヘルスリサーチセンター

うつ病（躁うつ病を含む）の患者数が100万人を超えたことが、2009年度の厚生労働省の調査で明らかになりました。うつ病のきっかけは多くの人が経験するストレスであり、うつ病は今や誰もがなり得る病気と言えます。

（財）パブリックヘルスリサーチセンターストレス科学研究所が主催する本シンポジウムでは、うつ病臨床の第一人者の先生方から、うつ病予防についての最新の知見をお話いただきます。この貴重な機会に、うつ病にならないための正しい知識を見につけましょう。

講師プロフィール

➤ 野村 総一郎（のむら そういちろう） 防衛医科大学校精神科教授

1974年慶應義塾大学医学部卒業。藤田保健衛生大学助手を経てテキサス大学医学部、メイヨ医科大学精神医学教室留学。1988年藤田保健衛生大学精神医学教室助教授。1993年国家公務員等共済組合連合会立川病院（神経科部長）で「疲労外来」を開設しこころとからだの疲れを訴える患者の診療にあたる。1997年防衛医科大学校精神科教授。日本うつ病学会前理事長。

➤ 坂元 薫（さかもと かおる） 東京女子医科大学医学部神経精神科教授

1982年東京医科歯科大学医学部卒業後、東京女子医科大学神経精神科にて研修。ドイツ、ボン大学精神科留学。東京女子医科大学神経精神科講師、東京女子医科大学神経精神科助教授を経て2007年東京女子医科大学精神医学講座教授に就任。専門領域は臨床精神薬理学、精神病理学、気分障害・不安障害の臨床研究。

➤ 下山 晴彦（しもやま はるひこ） 東京大学大学院教育学研究科教授

1982年東京大学大学院教育学研究科教育心理学専攻修了。1997年、東京大学博士（教育学）授与。東京工業大学保健管理センター専任講師、東京大学教育学部教育心理学科助教授、同大学院教育学研究科臨床心理学コース教授などを経て、2007年より同主任教授。専門は発達臨床心理学、臨床心理学論。

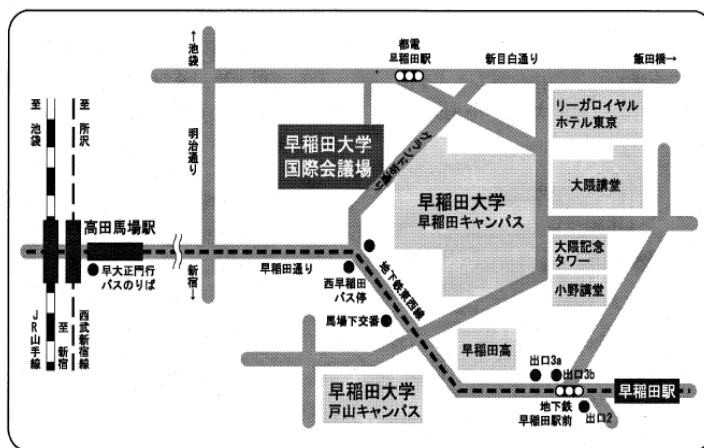
◆お申し込み方法

代表者氏名（同行者人数）、ご連絡先（電話番号）上記2つを明記の上、電話、メールまたはFAXにて下記までお申し込み下さい。

◆お申し込み先・お問い合わせ先

（財）パブリックヘルスリサーチセンター
東京都新宿区西早稲田 1-1-7
TEL：03-5287-5070
FAX：03-5287-5072
E-mail：info@phrf.jp

◆会場 早稲田大学 国際会議場 井深大記念ホール



東京メトロ東西線「早稲田」駅 3A または 3B 出口より徒歩 10 分

JR 山手線・西武新宿線「高田馬場」駅から都営バス西早稲田下車、徒歩 5 分